

令和5年度  
第1回みと好文カレッジ運営審議会

日 時 令和5年8月9日(水)  
午前10時00分～  
場 所 水戸市総合教育研究所  
2階 研究室1

みと好文カレッジ

## 【次 第】

1 開 会

2 委嘱状交付

3 自己紹介

4 委員長あいさつ

5 議 題

- (1) 令和5年度みと好文カレッジ運営方針及び主要施策について
- (2) 令和5年度みと好文カレッジ事業実施計画について
- (3) その他

6 閉会

## (1) 令和5年度みと好文カレッジ運営方針及び主要施策について

### 1 運営方針

生涯学習都市宣言を踏まえ、水戸市生涯学習推進基本計画（第4次）に基づく施策を推進するため、全市的な生涯学習の総称である「みと弘道館大学」の開催を通して、どのような状況下でも学びを止めることなく、少子・高齢化、高度情報化、地域社会における連帯感の欠如や家庭の教育力の低下等の現代的課題を解決するための学習機会を提供するとともに、学習成果を地域活動やまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

また、市民の生涯学習活動の振興を図るため、社会教育活動における基礎的なことからより専門的・実践的な知識や技術について、市民センター職員の力量を高める研修の機会を充実させるとともに、多様化、高度化する市民のニーズに応えるため、市民センターとの連携を強化しながら、時代の新たな課題に対応した学習プログラムの開発を進めるなど、市民センターへの支援・指導を強化する。

### 2 主要施策

#### (1) 市民センターへの支援・指導

##### ア 東湖塾の開催

市民センター職員に、生涯学習の基礎となる社会教育の知識を深める研修や家庭教育の支援の強化など、専門的・実践的な知識、技術を身につけ、職員の力量を高めるための研修会を開催する。

さらに、多様化、高度化する市民のニーズに応えるため、市民センターとの連携を強化しながら、現代的課題解決に向けた学習プログラムを研究・開発し、時代に合った新しい講座を先進的な市民センター講座として提案する。

- (ア) 新任職員研修（集合研修，訪問研修）
- (イ) 全体研修（集合研修，ブロック研修，訪問研修）
- (ウ) 学習プログラム作成研修（ブロック研修，訪問研修）

##### イ 好文塾の開催

東湖塾の学習プログラム作成研修等において研究・開発された現代的課題を取り扱った企画講座が市民センター事業として根付くよう、市民センターとみと好文カレッジの共同事業として位置づけ、市民センターにおける開催を支援する。

- (ア) 市民センター職員（ブロック単位）とみと好文カレッジ職員で企画した学習講座の開催
- (イ) 市民センター職員（単独）とみと好文カレッジ職員で企画した学習講座の開催

##### ウ 市民ニーズに対応した学習機会の提供

市民の学習ニーズの把握に努め、「個人の要望」や「社会の要請」に応じた学習をバランス良く提供できるよう市民センターの支援を行う。

- (ア) 市民ニーズを捉えた学習機会の提供
- (イ) 市民センター事業の現状と課題の調査

## エ 事業評価の推進

講座や事業に参加した市民が日常生活の中で学習の成果をどのように生かしているのか、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。そのため、市民センターにおいては、実施した講座や事業の自己評価を行うとともに、運営審議会等による自己評価に基づいた第三者評価を行い、より効果的な事業運営を進められるよう事業評価を推進する。

また、みと好文カレッジ等による事業評価を実施していく。

- (ア) 市民センターによる自己評価の実施
- (イ) 市民センター運営審議会委員による第三者評価の実施
- (ウ) みと好文カレッジによる事業評価制度の実施

## (2) 全市的な生涯学習の推進

### ア みと弘道館大学の開催

急激な社会の変化に対応し、人間性豊かな生活を営むために人々が学習する必要のある課題、いわゆる現代的課題の解決に向けた学習講座を市民に提供するとともに、学んだ成果がまちづくりや人づくりに生かされるよう内容の充実を図る。

また、時代に合った講座や「水戸市生涯学習サポーター」との協働による先進的な学習プログラムを市民に提供する。

- (ア) 茨城しぐさ
- (イ) 水戸市生涯学習サポーター協働企画講座

### イ 子育て応援塾の開催

家庭の教育力の向上を図るため、親としての役割や子どもとのコミュニケーションの取り方を考え、見つめ直す機会を提供する。

- (ア) 家庭教育講座
- (イ) 家庭教育出前講座

### ウ 生涯学習サポーターチャレンジ講座「さきがけ塾」の開催

生涯学習活動を通し、市民と行政とのまちづくりを進めるため、市民生活を豊かにする学習プログラムの企画・実施に参画する人材（水戸市生涯学習サポーター）を育成する。

## エ 「水戸市生涯学習サポーター」活動の推進

市民と行政との協働企画講座の企画・実施への参画をはじめ、「さきがけ塾」での学習成果を生かした活動を推進する。

### オ パイロット事業の研究・開発

現代社会の課題や人づくりをテーマとしたもの、ICT等の新しい技術を活用した講座など、先進的な講座を研究・開発し、開発した講座を各市民センター等の社会教育施設や地域団体等でも実施できるよう支援する。

### カ パパといっしょに夢らんど、ほっとひといきママたいむの開催

家庭教育支援事業の一環として、未就学児とその保護者を対象に、親子で活動する場や親同士、育児ボランティアとの情報交換の場を提供することによって、育児に対する悩みや不安を解消し、楽しみながら子育てできるよう支援する。

## キ 「あなたも師・達人制度」の活用促進

「あなたも師・達人制度」の登録指導者の募集や活用を広報「みと」やホームページ、情報誌などの各種広報媒体により周知を図るとともに、市民センター等の社会教育施設やPTA、ボランティア団体、NPO等が主催する講座や研修会の講師として積極的に紹介し、登録指導者の有効活用を促進する。

## ク 育児ボランティア制度の活用促進

子育て中の保護者が生涯学習活動に参加できるよう、講座開催中に別室で子どもを預かる「育児ボランティア制度」の活用促進と登録ボランティアの拡充を図るため、市民センター等の社会教育施設や社会教育関係団体に積極的に紹介し、制度の有効活用を促進する。

## ケ 学習情報の提供の充実

生涯学習活動を推進するため、みと好文カレッジの事業等を掲載した生涯学習情報誌の発行や新しい情報のホームページへの掲載など、生涯学習活動を積極的にPRする。

## コ 学習相談事業の充実

市民やボランティア団体等からの生涯学習相談に対し、適切で役立つ助言ができるよう、各種生涯学習情報の収集と整理を行う。

## サ 国・県・他市町村・企業・NPO等民間非営利団体・教育機関との連携の推進

国や県・他市町村との連携を図り、相互の生涯学習に関する情報を共有化するとともに、企業・NPO等民間非営利団体・教育機関と連携し、それぞれが持つ人的・物的資源の活用を図る。

## シ 訪問型家庭教育支援事業の拡充

地域人材を活用した家庭教育支援員を派遣し、家庭でのしつけなどに悩みを持つ保護者への個別訪問等の拡充を図る。あわせて、市内1～2小学校区の小学1年生のいる世帯への全戸訪問を実施し、子どもの生活習慣に関する相談等に対応することにより、さらなる家庭教育力の向上を目指す。

## (2) 令和5年度みと好文カレッジ事業実施計画について

### 1 市民センターへの支援・指導

#### (1) 東湖塾

令和5年度予算額 50千円（報償費）

市民センター職員に生涯学習の基礎となる社会教育の知識を深める研修や専門的・実践的な知識、技術を身につけ、職員の力量を高めるための研修会等を開催する。

さらに、現代的課題解決のための学習プログラムの研究・開発を行うとともに、多様化、高度化する市民のニーズに応え、時代にあった新しい講座を発掘し、先進的な市民センター講座として提案する。

研修方法は、一堂に会する「集合研修」と各市民センターへ出向く「訪問研修」を取り入れる。

#### ア 新任職員研修

市民センターに人事異動により新たに着任した者や新規採用者等を対象に、市民センター職員として事務事業を遂行するための基本的知識を身につける。

##### (7) 集合研修

- 対象者 市民センター所長，会計年度任用職員（新任者及び希望者）
- 参加者 市民センター所長 11人，会計年度任用職員 12人
- 日時 4月13日（木）午前10時～午後4時
- 会場 本庁舎 4階 中会議室4
- 内容

内 容	説明者
市民センターについて	市民生活課副参事
生涯学習の推進について	みと好文カレッジ所長
地域防災について	防災・危機管理課課長補佐
電送窓口関係について	市民課窓口第2係長

##### (4) 訪問研修

- 対象者 新任市民センター所長 7人，新任会計年度任用職員 11人
- 日 程 6月～7月に対象者を1回訪問
- 内 容 ①市民センターの運営について  
②生涯学習の推進について

## イ 全体研修

市民センター職員として、生涯学習の中の社会教育事業を推進していくための基礎知識の習得や事業の企画立案の進め方等、職員の支援にあたる。

### (7) 集合研修「第1回市民センター職員研修会」

- 対象者 市民センター会計年度任用職員
- 参加者 43人
- 日時 令和5年6月19日(月) 午前10時～午後4時
- 会場 本庁舎 4階 中会議室1・2・3
- 内容

内 容	講 師
現代的課題と講座の企画の流れ	茨城県水戸生涯学習センター 主任社会教育主事 江幡 覚
意見交流会 ～定期講座等について～	みと好文カレッジ
電送窓口について ～戸籍の遡り等～	市民課
クレーム対応について ～電話対応・窓口対応について～	総務法制課
公務員倫理	人事課
市民センターで使用する公文書等について ～起案文書作成の重要性～	総務法制課

### (4) 集合研修「第2回市民センター職員研修会」

- 対象者 市民センター職員(所長又は会計年度任用職員)
- 日時 ①8月29日(火) 午前9時～12時  
②9月29日(金) 午前9時～12時
- 会場 ①千波市民センター  
②水戸市総合教育研究所 2階 研究室5・6
- 講師 一般社団法人 水戸地区救急普及協会
- 内容 普通救命講習I

### (7) 集合研修「第3回市民センター職員研修会」

- 対象者 市民センター会計年度任用職員
- 日時 調整中
- 会場 調整中
- 講師 調整中
- 内容 SDGsを取り入れた講座企画について

### (I) 集合研修「市民センター所長研修会」

- 対象者 市民センター所長
- 日時 調整中
- 会場 調整中
- 講師 調整中
- 内容 調整中

(イ) 訪問研修

- 対象者 市民センター社会教育事業担当職員 34 人（予定）
- 日 程 8 月～12 月頃に，対象者を各 1 回訪問
- 内 容 ①市民センターの運営について  
②生涯学習の推進について

※計画訪問のほか，市民センターからの要請を受け，随時，実施する。

(カ) ブロック研修「意見交流会」

- 対象者 ①東部ブロックの市民センター会計年度任用職員  
②内原ブロックの市民センター会計年度任用職員
- 日 時 ①8 月 23 日（水） 午前 10 時～12 時  
②8 月 25 日（金） 午前 9 時 30 分～11 時 30 分
- 会 場 ①上大野市民センター  
②妻里市民センター
- 内 容 市民センターにおける生涯学習事業等を進める上で疑問に感じている事について，同じ業務に携わる会計年度任用職員が一堂に会し意見交換を行うことにより，ブロック内職員の交流を深め事務の効率化を図る一助とする。

ウ 学習プログラム作成研修

社会教育事業に従事する職員として，高度で多様化した住民のニーズに対応するため，専門的・実践的な知識や技術を身につけ，地域住民に様々な学習の機会を提供する必要がある。

そこで，市民センターの職員を対象に，現代的課題や地域課題の見出し方や課題解決のための学習プログラム作成に関する知識や技術を習得することを目的とする。

- 対象者 北部ブロックの市民センター会計年度任用職員  
※研修を希望する個別の市民センターにも対応する
- 日 程 5 月～8 月（4 回程度実施予定）
- 会 場 国田市民センター
- 内 容 同じブロックの職員が共同で地域課題の整理や学習プログラムのテーマを選定し，ブロック内の地域住民を対象とした講座を企画・実施する。

(2) 好文塾

令和 5 年度予算額 222 千円（報償費，賃借料等）

東湖塾で研究・開発された現代的課題を取り扱った学習プログラムの作成企画講座が，市民センター事業として根付くよう「好文塾」と名づけ，市民センターとみと好文カレッジとの共同事業として開催する。また，作成した学習プログラムが全ての市民センターにおいて取り組めるようモデル事業として位置づけ，市民センター活動を支援する。

北部ブロック好文塾

- 対象者 北部ブロック内住民
- ※日程，内容等については調整中。

2 全市的な生涯学習の推進

(1) みと弘道館大学の開催

令和 5 年度予算額 886 千円（報償費等）

急激な社会の変化に対応し，人間性豊かな生活を営むために人々が学習する必要のある課題，いわゆる現代的課題解決に向けた学習講座を市民に提供するとともに，学んだ成果を生活の充実や向上に活かされるよう内容の充実を図る。

また，時代にあった講座や「水戸市生涯学習サポーター」との協働による学習プログラムを市民に提供する。

## ア 茨城しぐさ

「相互扶助」や「共生」の精神を学び、「お互いが仲良く、気持ちよく生活する」ための方策を考えることにより、規範意識の向上と良好な人間関係を築く一助とすることを目的とする。

- 対象者 小学4年生から中学3年生及びその保護者（学校単位で実施）
- 日 程 令和6年2月末日まで随時
- 講 師 NPO法人 ひと・まちなつとわーく
- 内 容 授業参観，PTA研修会，総合的な学習の時間等，希望があった場に講師の派遣を行い，ロールプレイや講義を通して人付き合いの心構えを学ぶ。

<現時点での実施状況>

### ・堀原小学校

- 対象者 小学4年生及びその保護者（授業参観）
- 日 時 6月28日（水）午後1時40分～2時25分
- 会 場 堀原小学校
- 講 師 NPO法人 ひと・まちなつとわーく 宮澤 直美

## イ 「夏休みプログラミング教室 ～茨城高専生から学ぼう！～」の開催

- 対象者 市内在住又は通学する小学5～6年生
- 定 員 各回20人 ※応募者多数の場合は抽選により決定
- 日 時 8月21日（月）①午前10時～11時30分  
②午後1時30分～3時  
※①と②は同内容
- 会 場 本庁舎 4階 中会議室1・2・3
- 講 師 茨城工業高等専門学校学生
- 内 容 1人1台タブレットを使用し，タブレット版のビジュアルゲームプログラミングツール「IslayTouch（アイラタッチ）」で簡単なゲームを作成しながら，プログラミングの基礎を学習する。

## ウ まちづくりに関連した講座の開催

みと好文カレッジ単独で，まちづくりに関連した講座を開催予定。詳細については調整中。

## エ 現役世代を対象とした講座の開催

みと好文カレッジ単独で，現役世代を対象とした講座を開催予定。詳細については調整中。

## オ 水戸市生涯学習サポーター活動の推進

人材育成講座「さきがけ塾」の修了生が水戸市生涯学習サポーターに登録し，みと好文カレッジとの協働企画講座や，市民センターとの協働企画講座を市民に提供する。

なお，現在の登録者数は，第1期生から第7期生までで69名。

### 【生涯学習サポーター企画講座】

グループ	テーマ・内容
1	歴史…水戸の名跡を訪ねる（仮）
2	高齢者…高齢期の生き方（仮）
3	健康…癒し関係（仮）
4	家庭教育…親子関係（仮）
5	消費生活…消費者トラブル関係（仮）

※日程，内容等については現在調整中。

【市民センターとの協働企画講座】

※日程、内容等については現在調整中。

(2) 子育て応援塾の開催

令和5年度予算額 382千円（報償費等）

家庭の教育力の向上を図るため、子育てに関する講座や学習機会を提供する「子育て応援塾」を開催する。

ア 家庭教育講座

子育てを控えた親や子育て中の親等が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを吐露できる場を提供するとともに、体験学習をとおして、親としての役割や子どもとのコミュニケーションについて考えることにより、家庭における教育力の向上を目指す。

- 対象者 市内在住又は通勤する子育てに関心のある16歳以上の方（子育て中の方を優先）
- 定員 25人 ※応募者多数の場合は抽選により決定
- 日時 9月9日（土）午前10時～11時45分
- 会場 水戸市総合教育研究所 2階 研究室5・6
- 講師 コミュニケーションインストラクター 中島 由佳子
- 内容 グループディスカッションやロールプレイング等の体験学習をとおして、親子がお互いを大切にしながら日々を過ごすための方法を学習する。

イ 家庭教育出前講座

保護者が家庭教育の重要性を改めて認識し、子どもたちが家族の触れ合いを通じて、「生きる力」を育めるよう、講師が幼稚園等に出向き、家庭教育に関する講座を開催する。

- 対象者 私立幼稚園，認定こども園，民間保育園の保護者等  
※現時点での申込園3園（すずらん石川保育園，のぎく保育園，はぐくみの森あさひ保育園）
- 会場 各私立幼稚園，認定こども園，民間保育園
- 講師 ① 朗読家 見澤 淑恵  
② コミュニケーションインストラクター 中島 由佳子  
③ 水戸市生涯学習サポーター 綿引 均
- 内容 ① 「未来の扉をひらく絵本の読み聴かせ」  
朗読・読み聴かせの専門家である講師から，効果的な読み聴かせの方法や絵本がもつ間接体験の意義等を学ぶ。  
② 「子どもの心のケアに役立つコミュニケーション」  
グループディスカッションやロールプレイング等の体験学習をとおして，子どものストレスや不安にどう関わればよいのか，子どもの心のケアについて学ぶ。  
③ 「生きる力を育てる子育て10カ条」  
昔の子育ての知恵から家庭教育の大切さを学ぶとともに，グループワークにおいて親の役割について意見交換し，「my子育て5カ条」を考える。
- 日程 令和6年2月29日（木）まで随時

(3) 「さきがけ塾」の開催

令和5年度予算額 635千円（報償費，賃借料等）

生涯学習活動をとおり、市民と行政とのまちづくりに携わる人のために「さきがけ塾」を開催する。塾では市民生活を豊かにする学習プログラムを考え、実施に向けた方法を探り、行政が主催する講座の企画・実施に参画する人材の確保を図る。

第八期「さきがけ塾」

- 対象者 生涯学習や学習プログラムの作成に関心のある市民
- 期 間 令和5年4月～令和6年6月（1年3カ月）
- 回 数 理論編21回（月1～2回，水曜日 午後6時30分～8時30分），  
実習編4回，実践編4回程度
- テーマ 持続可能な社会に向けたまちづくり・ひとづくり
- 募集人数 15人（参加人数11人）
- 会 場 見和市民センターほか
- 内 容  
（理論編）

回	開催(予定)日	学 習 内 容	講 師
1	4月26日	開講式 持続可能な社会に向けたまちづくり・ひとづくり①	茨城県生涯学習・社会教育研究会 会長 長谷川 幸介
2	5月10日	ファシリテーションを学ぼう	NPO 法人セカンドリーグ茨城 理事長 横須賀 聡子
3	5月24日	ファシリテーターになろう	
4	6月14日	まちづくりとボランティア活動	茨城キリスト教大学兼任講師 池田 幸也
5	6月28日	魁のまち，水戸を目指して	水戸市政策企画課
		水戸の防災を学ぶ	水戸市防災・危機管理課
6	7月12日	SDGsについて学ぼう	水戸市消費生活センター
7	7月26日	美しい街，水戸を目指して	水戸市都市計画課
8	8月2日	受講者側に立って学ぶ 「紫芳の字手紙講習会」	紫芳の字手紙認定講師 寺門 忍
9	8月23日	水戸の歴史を学ぶ	水戸市教育委員会歴史文化財課
10	9月13日	持続可能な社会に向けたまちづくり・ひとづくり②	茨城県生涯学習・社会教育研究会 会長 長谷川 幸介
11	9月27日	学習プログラムづくり実践 の手法	元学校長 比留間 範之
12	10月11日	学習プログラムづくり①	
13	10月25日	学習プログラムづくり②	元学校長 比留間 範之 水戸市生涯学習サポーター 綿引 均
14	11月8日	学習プログラムづくり③	
15	11月22日	学習プログラムづくり④	水戸市生涯学習サポーター 小平 文和
16	12月6日	学習プログラムづくり⑤	
17	12月20日	学習プログラムづくり⑥	
18	令和6年 1月10日	アンケートづくりの実践	水戸市生涯学習サポーター 小平 文和

19	1月31日	学習プログラムづくり⑦	元学校長 比留間 範之 水戸市生涯学習サポーター 綿引 均
20	2月14日	学習プログラムづくり⑧	水戸市生涯学習サポーター 小平 文和
21	2月28日	ためして合点！プレゼンテーション	元学校長 比留間 範之

【参考】これまでのテーマ（平成22年10月～）

- 第一期 子育て支援コース・地域支援コース
- 第二期 絆な幸齢期コース・暮らしと環境コース
- 第三期 社会の宝（子ども）育成コース・縁がつなぐコミュニティコース
- 第四期 参画と協働のひとづくり・まちづくり
- 第五期 参画と協働のひとづくり・まちづくり
- 第六期 元気な明日を目指す水戸のまちづくり・ひとづくり
- 第七期 持続可能な社会に向けたまちづくり・ひとづくり

(4) 「さきがけ塾」塾生との協働企画講座 令和5年度予算額 160千円（報償費等）

市民と行政との協働による学習講座の企画・実施に携わる「水戸市生涯学習サポーター」を目指し、「さきがけ塾」第八期生のテーマ『持続可能な社会に向けたまちづくり・ひとづくり』を学んだ受講生が、学習の成果として作成した講座を市民に提供する。

(5) ICT等の新しい技術に関する講座・研修、新しい技術を活用した講座・研修の開催

シニア向けのスマートフォン講座をデジタルイノベーション課と共催で実施予定。

(6) 子育て支援講座の開催 令和5年度予算額 285千円（報償費，消耗品費）

ア パパといっしょに夢らんど

家庭教育支援事業の一環として，2，3歳児とその父親を対象に，様々な講座を実施することで，子育て中の親同士が出会い，情報交換の場を作り，楽しみながら子育てできるよう支援する。

- 対象者 市内在住又は通勤する父親とその子ども（2，3歳児）
- 定員 親子16組（親1人，子1人） ※応募者多数の場合は抽選により決定
- 日時
  - パート1 5月13日（土）・6月3日（土）・7月1日（土）  
午前10時～11時30分（全3回）
  - パート2 9月26日（火）・10月31日（火）・11月28日（火）  
午前10時～11時30分（全3回）
- 会場
  - パート1 鯉淵市民センター
  - パート2 千波市民センター
- 参加費 1組200円（材料費として）

○内 容

(パート1)

	テーマ	講師	開催日
1	親子運動遊び	保育士 鯉渕 裕志	5月13日
2	親子アート遊び	子どもアート講師 綿引 真宏	6月3日
3	親子ヒップホップ	ヒップホップインストラクター SANA E & KAREN	7月1日

(パート2)

	テーマ	講師	開催予定日
1	親子運動遊び	保育士 鯉渕 裕志	9月26日
2	親子ヒップホップ	ヒップホップインストラクター MEGU & SANA E	10月31日
3	親子アート遊び	子どもアート講師 綿引 真宏	11月28日

イ ほっとひといきママたいむ

子育て中の保護者が、子どもと離れる時間を持ち、育児に関するテーマについて学び、他の保護者と意見交換をする機会を設けることにより、リフレッシュするとともに家庭教育について考える一助とする。

- 対象者 市内在住の乳幼児（就学前）のお子さんをもつ保護者
- 定 員 16人 ※応募者多数の場合は抽選により決定
- 日 時
  - パート1 5月30日（火）・6月13日（火）・7月4日（火）
  - パート2 9月28日（木）・10月12日（木）・11月2日（木）
  - パート3 令和6年1月12日（金）・1月26日（金）・2月9日（金）
- 会 場 水戸市総合教育研究所 2階 研究室5・6
- 参加費 無料
- 託 児 無料（生後6カ月～未就学児）
- 内 容

(パート1)

	テーマ	講師	開催日
1	音楽と心の成長	音楽療法士 馬立 明美	5月30日
2	子どもの救急対応	保健師 茂木 佳子	6月13日
3	トイレトレーニング	やす託児所理事長 安 のり子	7月4日

(パート2)

	テーマ	講師	開催予定日
1	ちょこっとおかたづけ	整理収納アドバイザー 國生 輝枝	9月28日
2	遊びとことばの成長	言語聴覚士 高橋 まどか	10月12日
3	どうするいやいや期	茨城女子短期大学非常勤講師 橋本 祥子	11月2日

(パート3)

	テーマ	講師	開催予定日
1	仕上げ歯みがき	歯科衛生士 伊藤 敦子	令和6年 1月12日
2	時短クッキング	フードインストラクター 軽部 知美	1月26日
3	叱っちゃいけないの？	やす託児所理事長 安 のり子	2月9日

(7) 育児ボランティア「えくぼ会」

令和5年度予算額 62千円(報償費等)

ア 前期研修会

育児ボランティア中、事故や災害があった時のために応急手当の具体的な説明、実技「自動体外除細動器(AED)」をとおり、とっさの時に対応できる救命法を学ぶ。

- 対象者 育児ボランティア「えくぼ会」会員
- 日時 第1回 4月18日(火) 午後1時30分～4時30分  
第2回 4月28日(金) 午前9時～12時
- 会場 水戸市福祉ボランティア会館 2階 大研修室
- 講師 一般社団法人 水戸地区救急普及協会
- 内容 普通救命講習Ⅲ ※主に小児、乳児、新生児対象

イ 後期研修会

会場、内容、日程等については未定。

(8) 国・県・他市町村・企業・NPO等民間非営利団体・教育機関との連携の推進

国や県・他市町村との連携を図り、相互の生涯学習に関する情報を共有化するとともに、企業・NPO等民間非営利団体・教育機関と連携し、それぞれが持つ人的・物的資源の活用を図る。

ア NPO法人 ひと・まちなっとわーくとの連携事業「茨城しぐさ」

NPO法人 ひと・まちなっとわーくの講師を活用した出前講座を開催する。詳細は「2 全市的な生涯学習の推進 (1) みと弘道館大学の開催 ア 茨城しぐさ」を参照。

イ ソフトバンク株式会社及び株式会社NTTドコモとの連携事業

ソフトバンク株式会社及び株式会社NTTドコモの講師を活用し、シニア向けスマートフォン講座を開催する。詳細は「2 全市的な生涯学習の推進 (5) ICT等の新しい技術に関する講座・研修、新しい技術を活用した講座・研修の開催」を参照。

#### ウ 明治安田生命保険相互会社との連携事業

市民センターへの支援として、「地元の『公民館』元氣プロジェクト」を実施している明治安田生命保険相互会社の講師を活用した講座の開催を市民センターに提案する。

#### (9) 水戸市訪問型家庭教育支援事業

令和5年度予算額 990千円（報償費等）

核家族化や少子化等による地域のつながりの希薄化等により、家庭教育を支える環境は大きく変化するとともに、家庭をめぐる問題は複雑化しており、社会全体で家庭教育を支援する必要性が高まっている。

本事業においては、家庭でのしつけや子どもへの関わり方等について悩みを抱えているにもかかわらず、様々な事情により相談や保護者向けの学びの場に出てくることが困難な保護者に対して支援を届け、保護者への支援を通じ子どもの育ちを支えていくことを目的にしている。

#### ア 家庭教育支援員による家庭訪問等の実施

保健師やソーシャルワーカー等の家庭教育支援員（現在9名）が、2人一組で個別に対象家庭を訪問し、家庭教育に関する相談に応じたり情報提供を行ったりするほか、必要に応じ専門機関へとつなぐ。平成30年度から未就学児のいる家庭を対象に開始したが、令和2年度から小学校1年生までの児童がいる家庭へ対象を広げた。また、令和4年度は、堀原小学校の1年生がいる全世帯（47世帯）を対象に訪問を行った。本年度は、赤塚小学校・城東小学校の1年生がいる全世帯（計約50世帯）を対象に訪問を行う（11月～12月予定）。

広報活動については、小学校、幼稚園、保育所等へのチラシ配布やポスター掲示、出生届受理時及び2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査時のチラシ配布、ホームページやSNSでの情報発信等を継続して行う。また、就学時の健康診断で保護者へ事業案内を実施する。併せて、水戸市民間保育園園長会、水戸市私立幼稚園協会会議等で幼児保育・保育施設職員等へ事業について周知し、必要に応じて幼稚園等で保護者が集まる機会に支援員を派遣する。

#### イ 水戸市訪問型家庭教育支援推進協議会の開催

元教員や子育て支援団体関係者等6名の委員からなる協議会を設置し、事業の推進方針や家庭教育支援員の活動支援に関すること等を協議する。年2回開催予定。